

# ADWAYS

## 2022

AUGUST 3, 2022

## PRESENTATION MATERIAL

# SECOND QUARTER

東京証券取引所プライム市場 :2489  
株式会社アドウェイズ

2022年12月期第2四半期 決算説明会  
2022年8月3日 取締役会長 岡村 陽久

# 目次

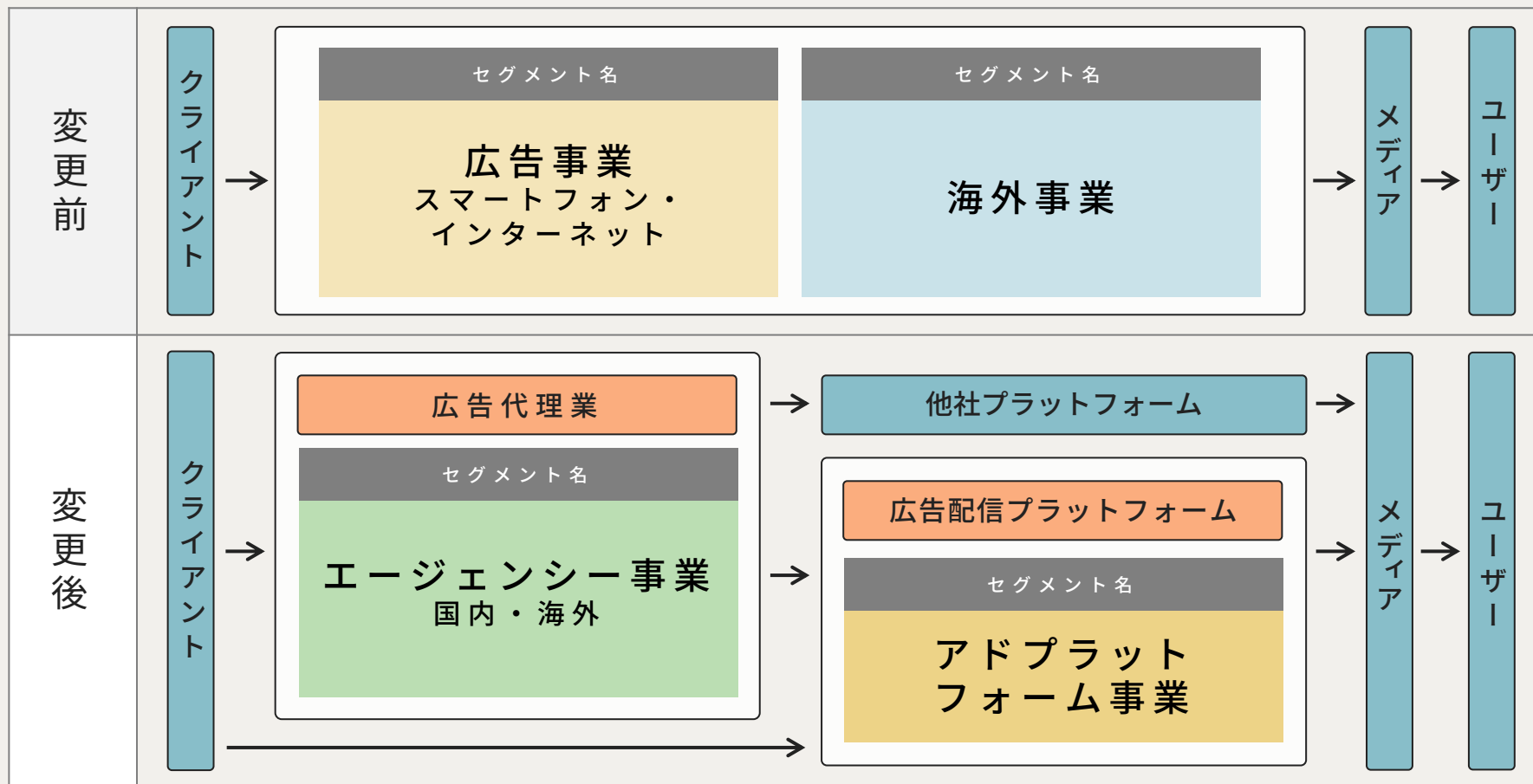
1. 第2四半期の業績 ... P.5
2. 事業概況 ... P.18
3. 補足資料 ... P.41

# 本資料における記載方法について

- ・ 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- ・ 2021年12月期より決算期を変更したため、前年同四半期比較は2021年12月期第1四半期(2021年4月～6月)と比較しております。
- ・ 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。詳細は次ページをご確認ください。
- ・ 過年度との比較のため、2021年12月期、2022年12月期の「取扱高」を参考値として記載しておりますが、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- ・ 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率(親会社株主に帰属する純利益率)、売上原価率、掲載料率は上記取扱高に対する比率を記載しております。

# 報告セグメントの変更

2022年12月期より報告セグメントを、包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」に変更。



※報告セグメントの国内・海外の切り分けは、変更前（2021年12月期以前）は当社グループ会社の所在地により、変更後（2022年12月期以降）はクライアントの所在地によります。

Chapter1 : **Second quarter results**

1.

第2  
四半期  
の業績

# 当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

[ 単位：百万円 ]

	2022年 12月期 第2四半期 (2022年4月～6月)	前年同四半期比 2021年12月期第1四半期 (2021年4月～6月)			前四半期比 2022年12月期第1四半期 (2021年1月～3月)		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	14,978	12,354	+2,624	+21.2%	15,826	▲847	▲5.4%
売上高	3,213	2,754	+458	+16.6%	3,518	▲304	▲8.7%
売上総利益	2,588	2,167	+420	+19.4%	2,804	▲216	▲7.7%
販管費	2,294	1,862	+432	+23.2%	2,149	+145	+6.7%
営業利益	294	305	▲11	▲3.7%	655	▲361	▲55.2%
経常利益	13	450	▲437	▲97.0%	696	▲682	▲98.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	454	249	+205	+82.3%	501	▲46	▲9.2%

**取扱高** 前年同四半期比 **26億24**百万円の増加 (21.2%増)  
前四半期比 **8億47**百万円の減少 (5.4%減)

**営業利益** 前年同四半期比 **11**百万円の減少 (3.7%減)  
前四半期比 **3億61**百万円の減少 (55.2%減)

# 2022年12月期業績予想の修正

(親会社株主に帰属する当期純利益のみ修正・2022年5月31日開示)

投資有価証券の一部を売却した事により、特別利益(投資有価証券売却益)が発生する事などに伴い、2022年12月期の連結業績予想を修正しております(2022年5月31日開示)。

[ 単位：百万円 ]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想	59,000	13,800	1,420	1,690	1,000
2022年5月31日 修正予想	59,000	13,800	1,420	1,690	1,360
増減額	-	-	-	-	+360
増減率	-	-	-	-	+36%

※「前回発表予想」とは2022年5月2日付け「2022年12月期第1四半期決算短信」で発表した数値。

# 2022年12月期業績予想の修正

(親会社株主に帰属する当期純利益のみ修正・2022年5月31日開示)

[ 単位：百万円 ]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想	59,000	13,800	1,420	1,690	1,000
2022年5月31日 修正予想	59,000	13,800	1,420	1,690	1,360
実績	30,804	6,731	949	709	955
2022年5月31日 修正予想 に対する進捗率	52.2%	48.8%	66.9%	42.0%	70.3%

※「前回発表予想」とは2022年5月2日付け「2022年12月期第1四半期決算短信」で発表した数値。



# 2022年12月期配当予想の修正

(2022年5月31日開示)

## 2022年12月期配当予想

前回発表予想

1株当たり**5**円49銭 (配当性向22%)

2022年5月31日  
修正予想

1株当たり**7**円46銭 (配当性向22%)

## 3ヶ年(2021年12月期～2023年12月期)の配当方針

第22期

2021年12月期

配当性向**21%**

もしくは

**1株当たり2円70銭**

の**高い方**

第23期

2022年12月期

配当性向**22%**

もしくは

**1株当たり2円80銭**

の**高い方**

第24期

2023年12月期

配当性向**23%**

もしくは

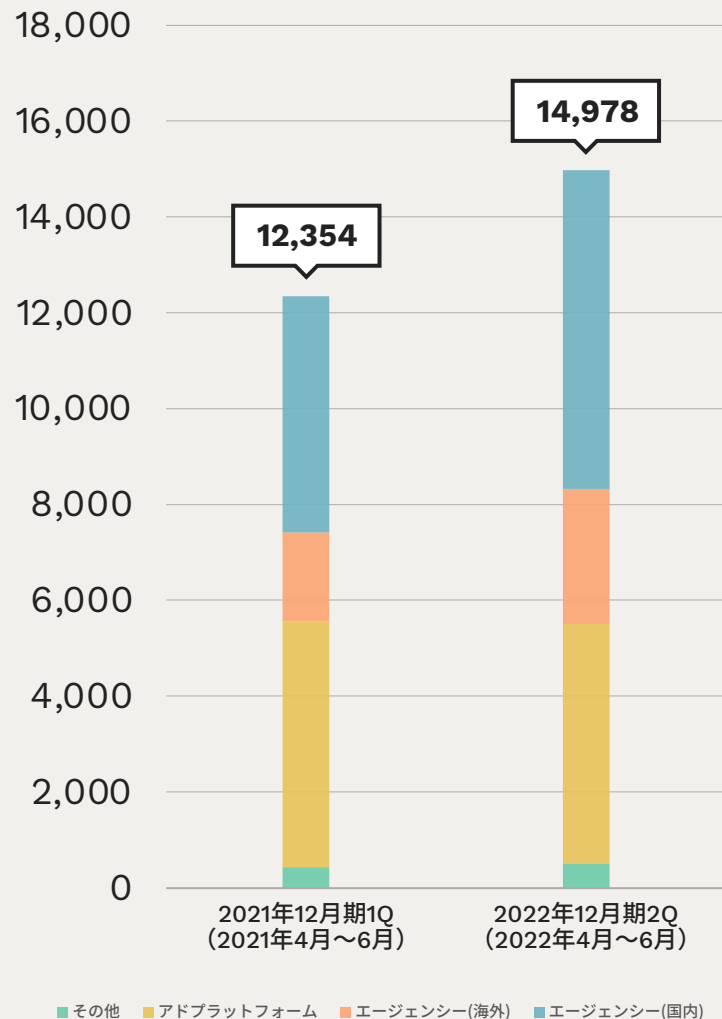
**1株当たり2円90銭**

の**高い方**

※「前回発表予想」とは2022年5月2日付け「2022年12月期第1四半期決算短信」で発表した数値。

# 取扱高の前年同四半期比較

単位：百万円



## エージェンシー・・・94億65百万円

(アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業)

前年同四半期比：26億79百万円増 (39.5%増)

### 国内・・・66億51百万円

前年同四半期比：17億13百万円増 (34.7%増)

ゲームアプリについては減少したものの、マンガアプリのほか、QRコード決済アプリなどのゲームとマンガに分類されないアプリも大幅に伸長したため増加。

### 海外・・・28億14百万円

前年同四半期比：9億66百万円増 (52.3%増)

新型コロナウイルス感染症による外出禁止等の影響で中国については減少したものの、台湾でのアプリ広告が大幅に伸長した事により増加。

## アドプラットフォーム・・・49億90百万円

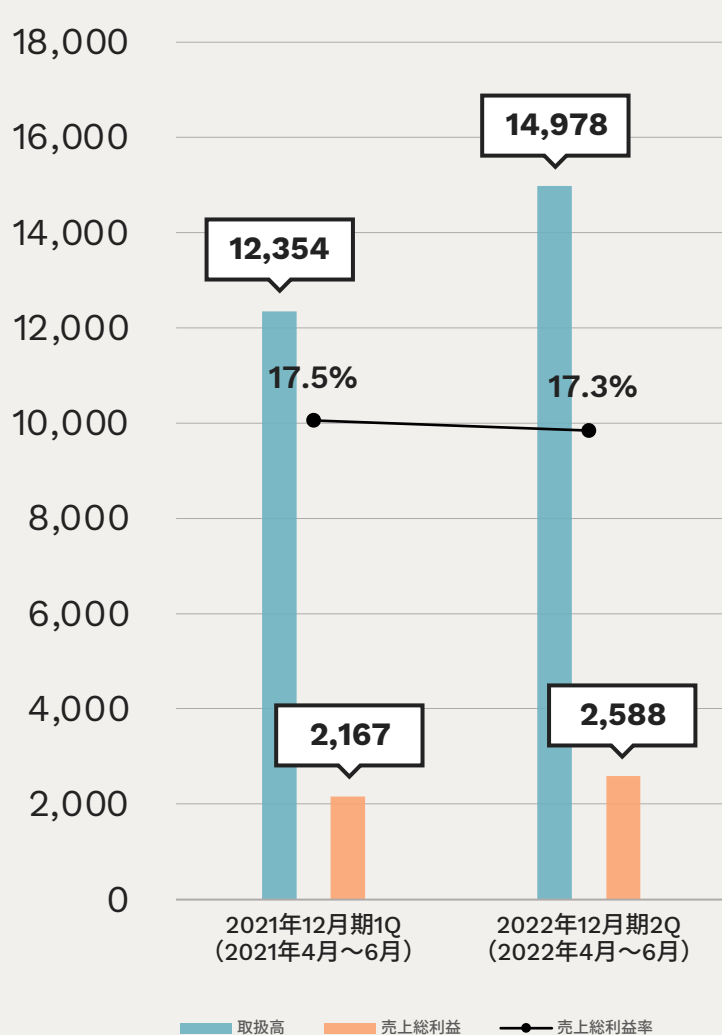
(UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業)

前年同四半期比：1億35百万円減 (2.6%減)

UNICORNの取扱高は大きく増加したものの、一部のECクライアントのアフィリエイトの取扱高が減少。金融クライアントについてはほぼ横ばい。

# 売上総利益の前年同四半期比較

単位：百万円



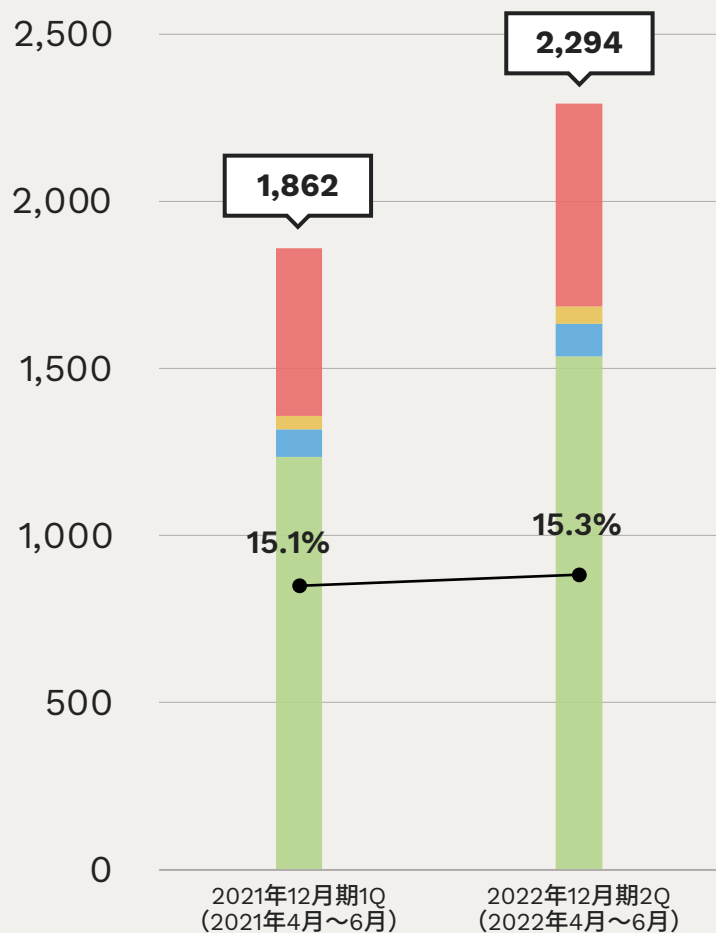
**当四半期売上総利益 25億88百万円**

前年同四半期比：4億20百万円増（19.4%増）

売上総利益率：17.3%（0.2ポイント減）

# 販管費の前年同四半期比較

単位：百万円



**当四半期販管費 22億94百万円**

前年同四半期比：4億32百万円増（23.2%増）

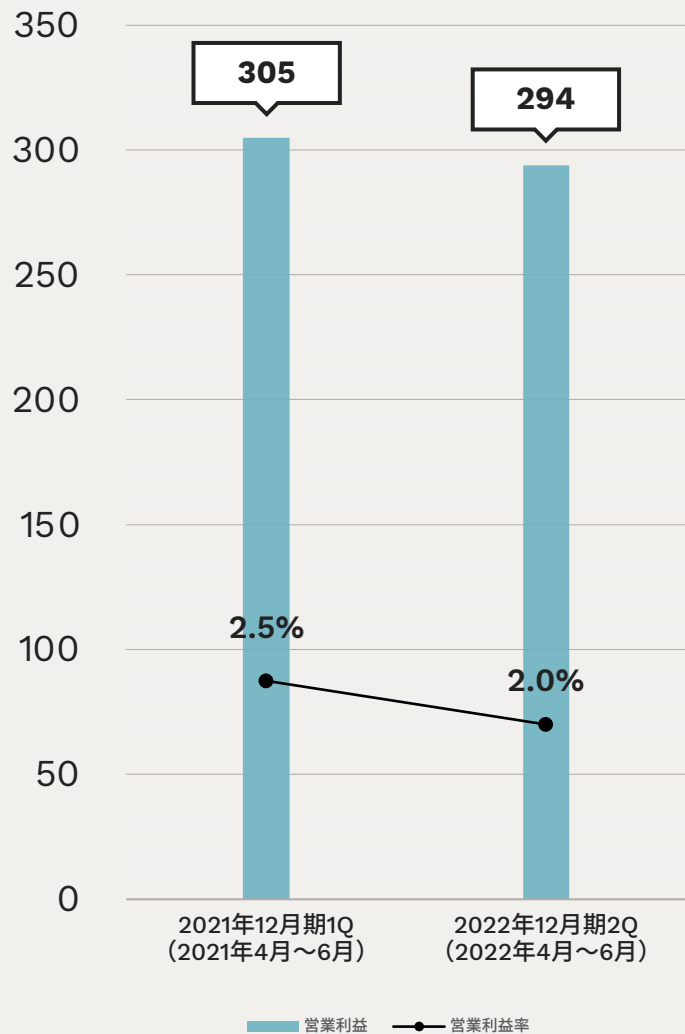
販管費率：15.3%（0.2ポイント増）

## 主な増加要因

- ・人件費・採用教育費の増加：約3億1百万円増

# 営業利益の前年同四半期比較

単位：百万円



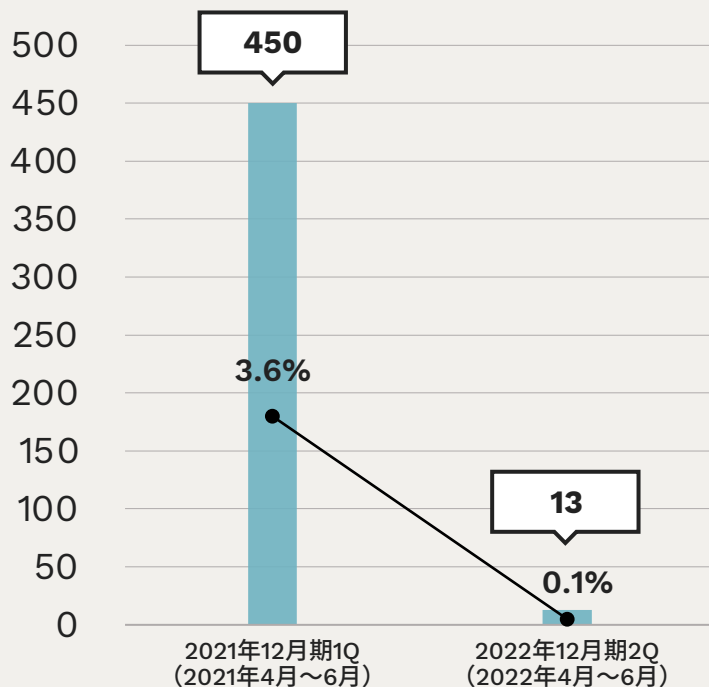
**当四半期営業利益 2億94百万円**

前年同四半期比：11百万円減（3.7%減）

営業利益率：2.0%（0.5ポイント減）

# 経常利益の 前年同四半期比較

単位：百万円



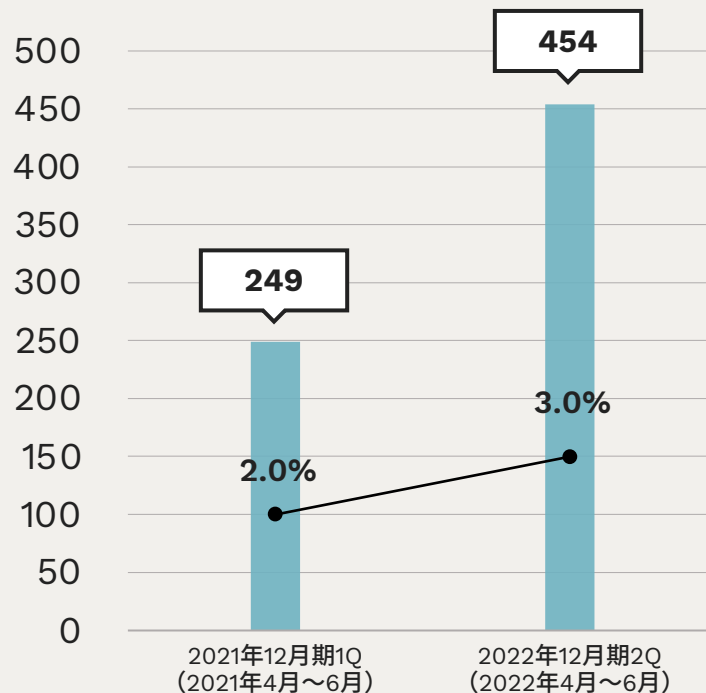
**当四半期経常利益 13百万円**

前年同四半期比 : 4億37百万円減 (97.0%減)

経常利益率 : 0.1% (3.5ポイント減)

# 親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前年同四半期比較

単位：百万円



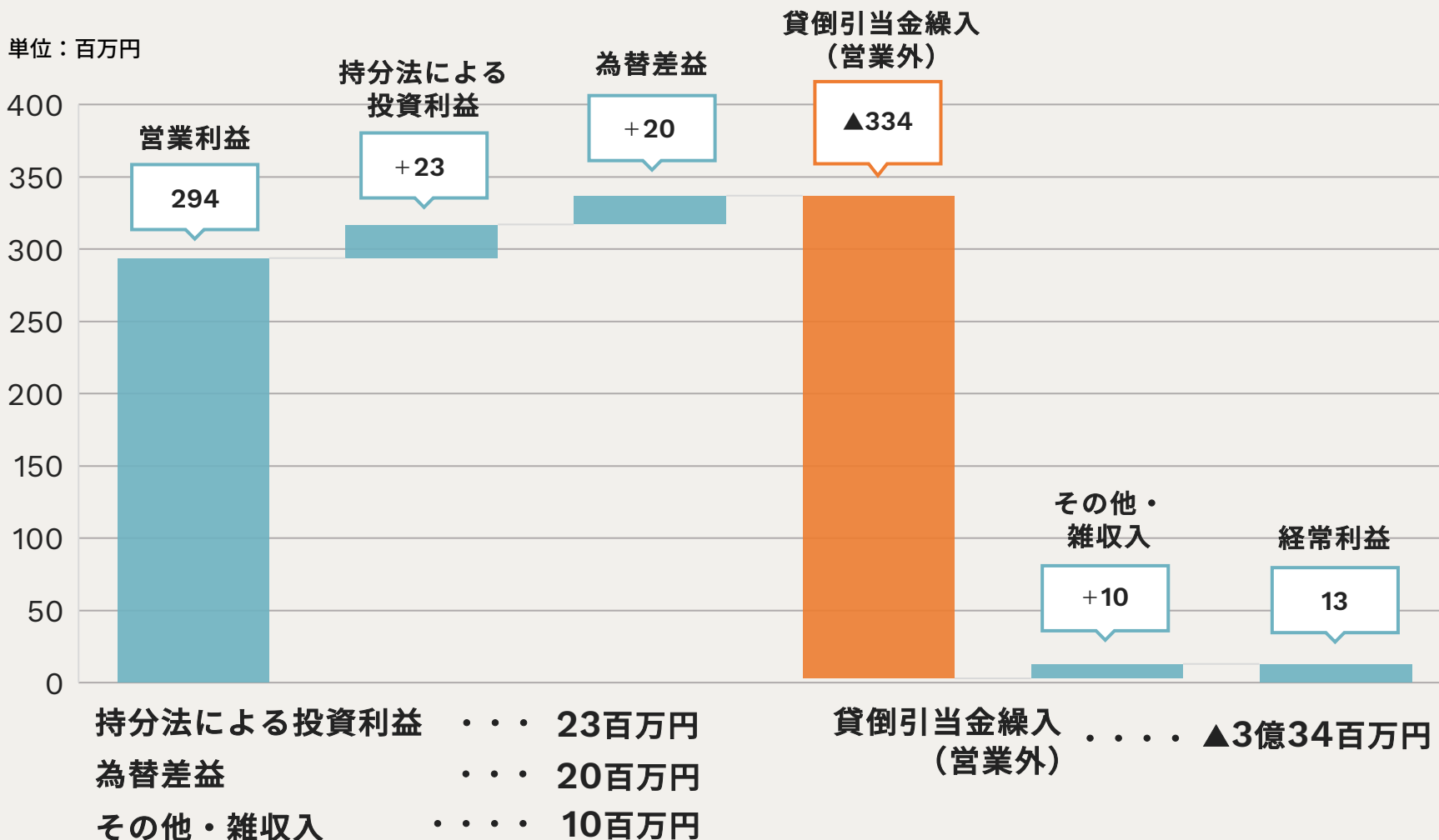
**親会社株主に帰属する  
当四半期純利益 4億54百万円**

前年同四半期比 : 2億5百万円増 (82.3%増)

利益率 : 3.0% (1.0ポイント増)

# 経常利益の推移

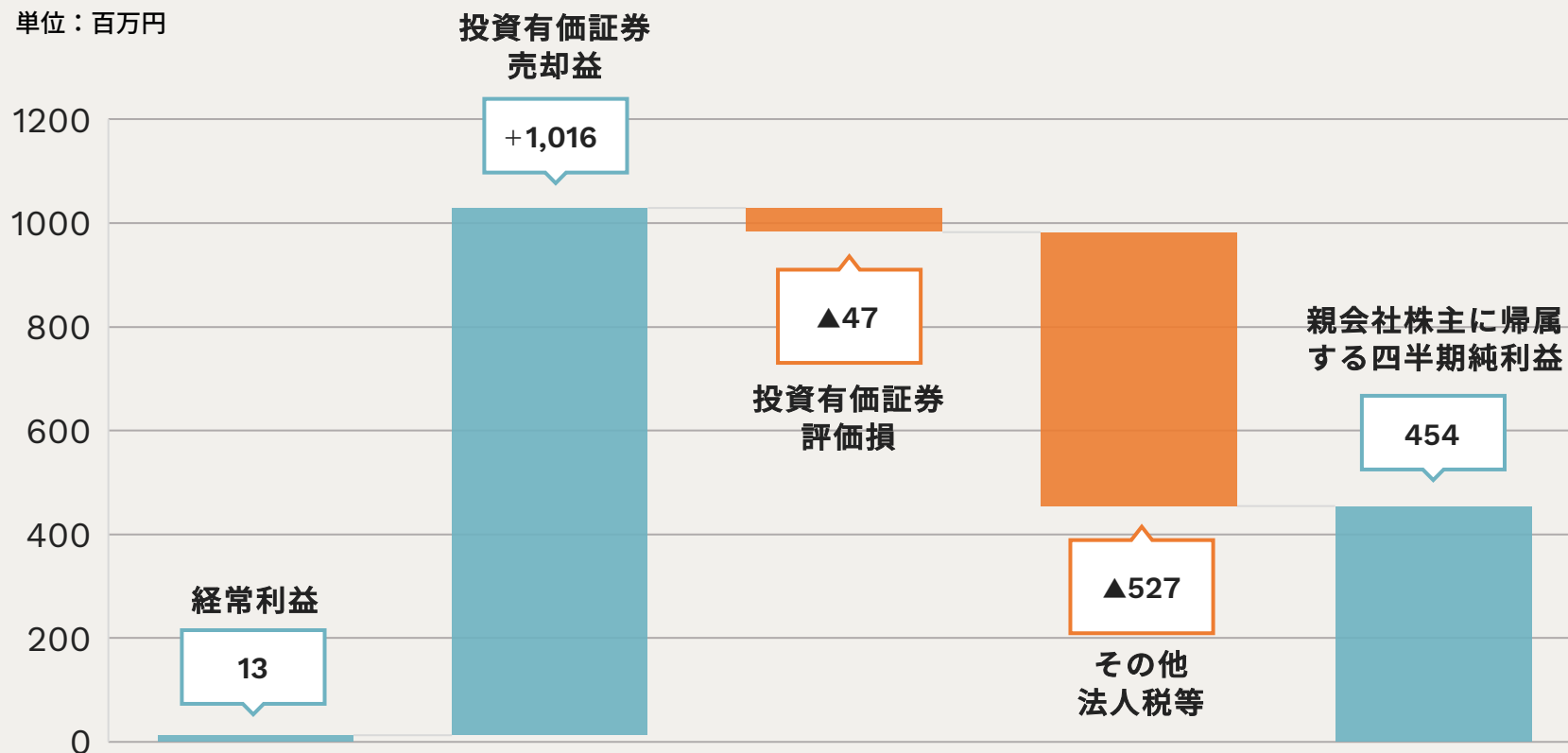
当社グループの持分法適用会社である MU CHARM LABORATORY LIMITED に対する債権の回収の可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入（営業外）3億34百万円を計上しております（2022年6月28日開示）。



# 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

ANYCOLOR株式会社の東京証券取引所への上場に伴う同社普通株式の売出しに参加し、同社株式の一部を売却した事などにより、特別利益(投資有価証券売却益) 10億16百万円を計上しております(2022年5月31日開示)。

単位：百万円



投資有価証券売却益 . . . . . 10億16百万円

投資有価証券評価損 . . . . . ▲47百万円

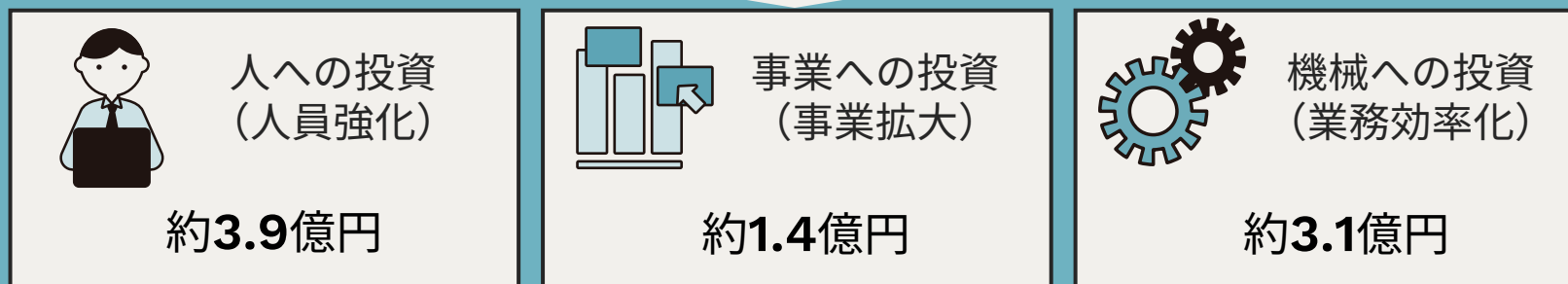
その他法人税等 . . . . . ▲5億27百万円



# 人・事業・機械への投資

2022年12月期 投資予定額：約8.4億円

事業年度	投資予定額	業績予想の営業利益	投資前営業利益
2022年12月期	約8.4億円	14.2億円	約22.6億円



第2四半期  
投資進捗



○：計画通り △：計画を下回る ×：計画を大きく下回る

「人への投資」「事業への投資」「機械への投資」を行い  
広告事業の地盤固めを行う。

# 2.

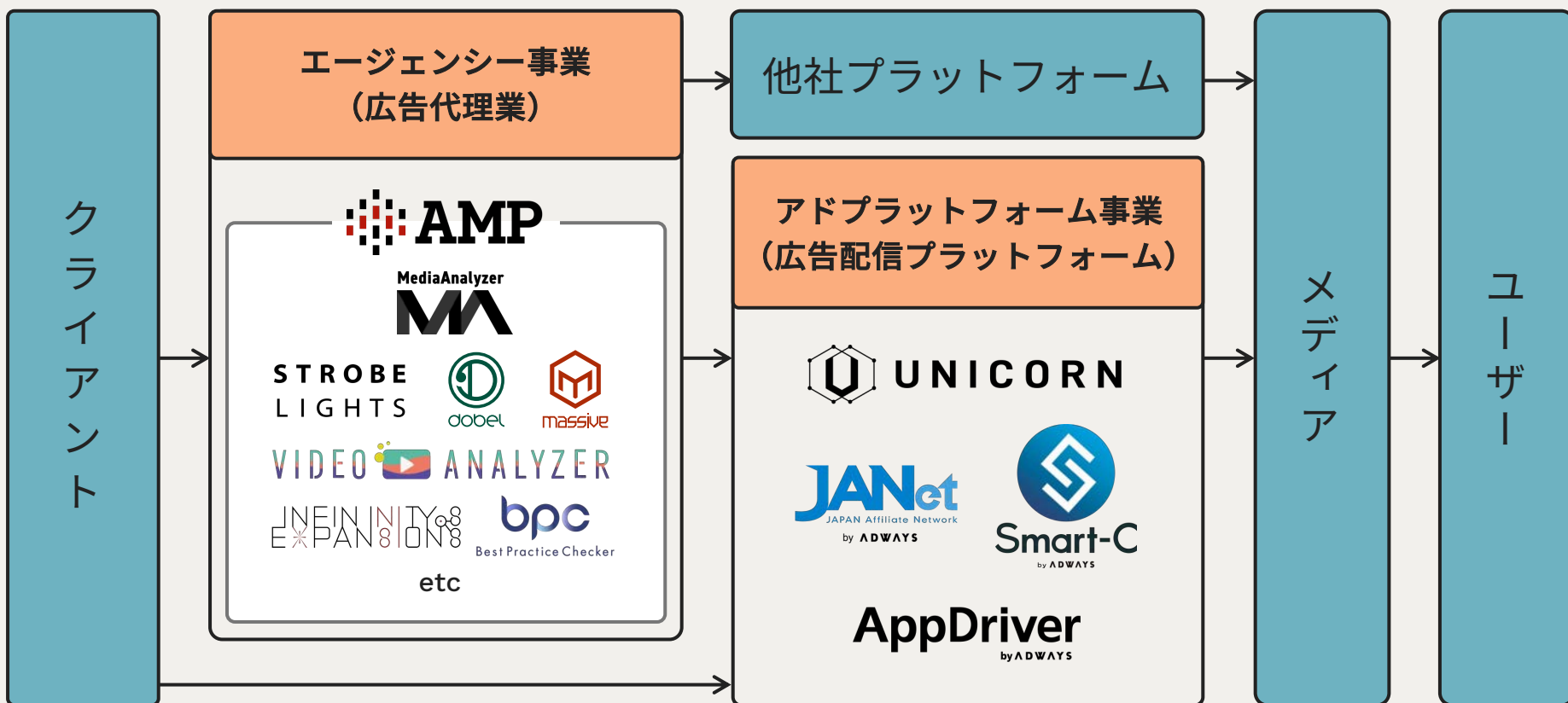
Chapter 2 : business overview

事業概況

# 広告事業の概況

Second quarter

## 広告事業の分類



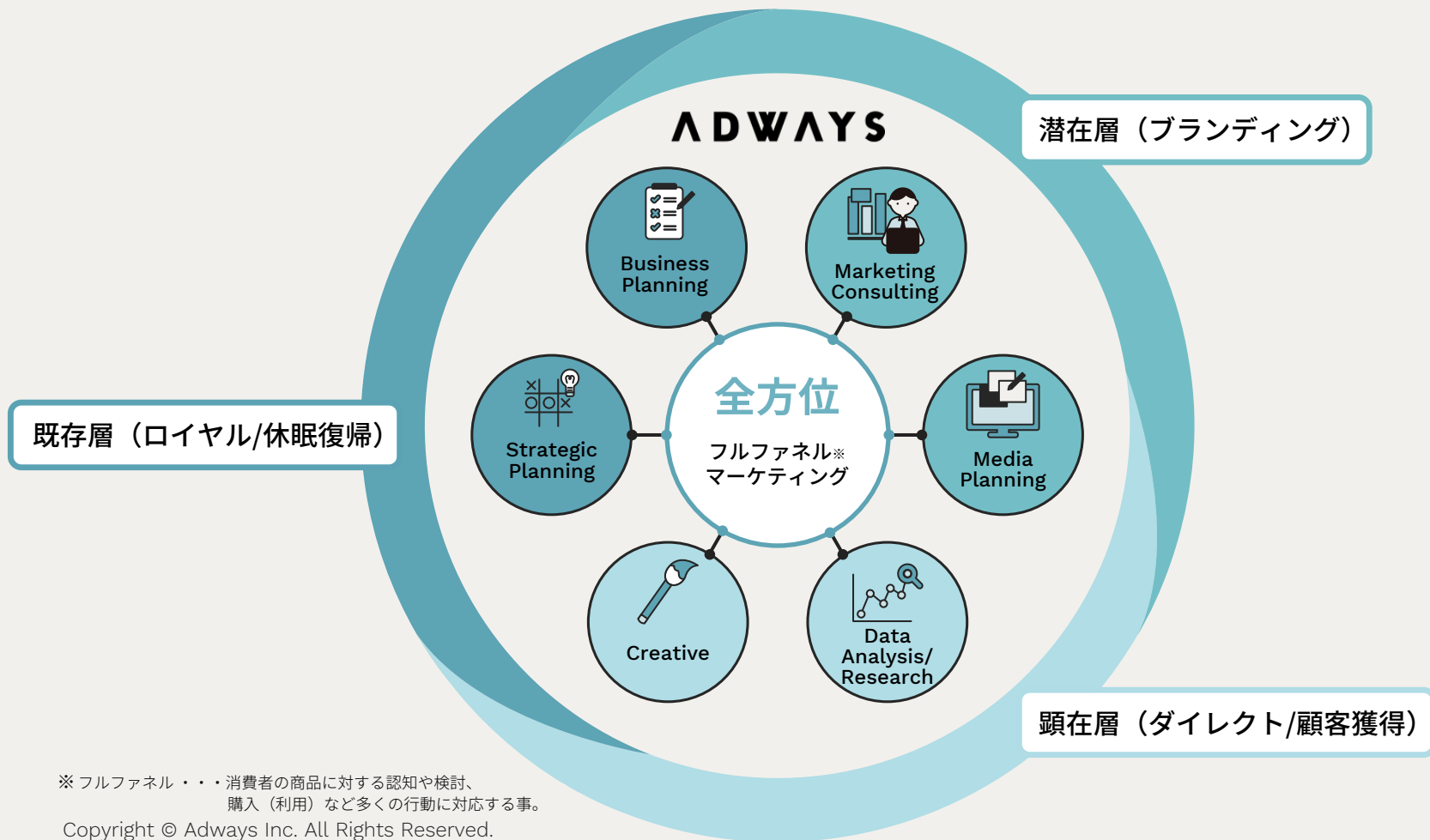
広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

# エンジニアリング 事業 (国内・海外)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

# エージェンシー事業 事業方針

オフライン&オンラインの統合プランニングにより  
マーケティング領域を全方位カバー

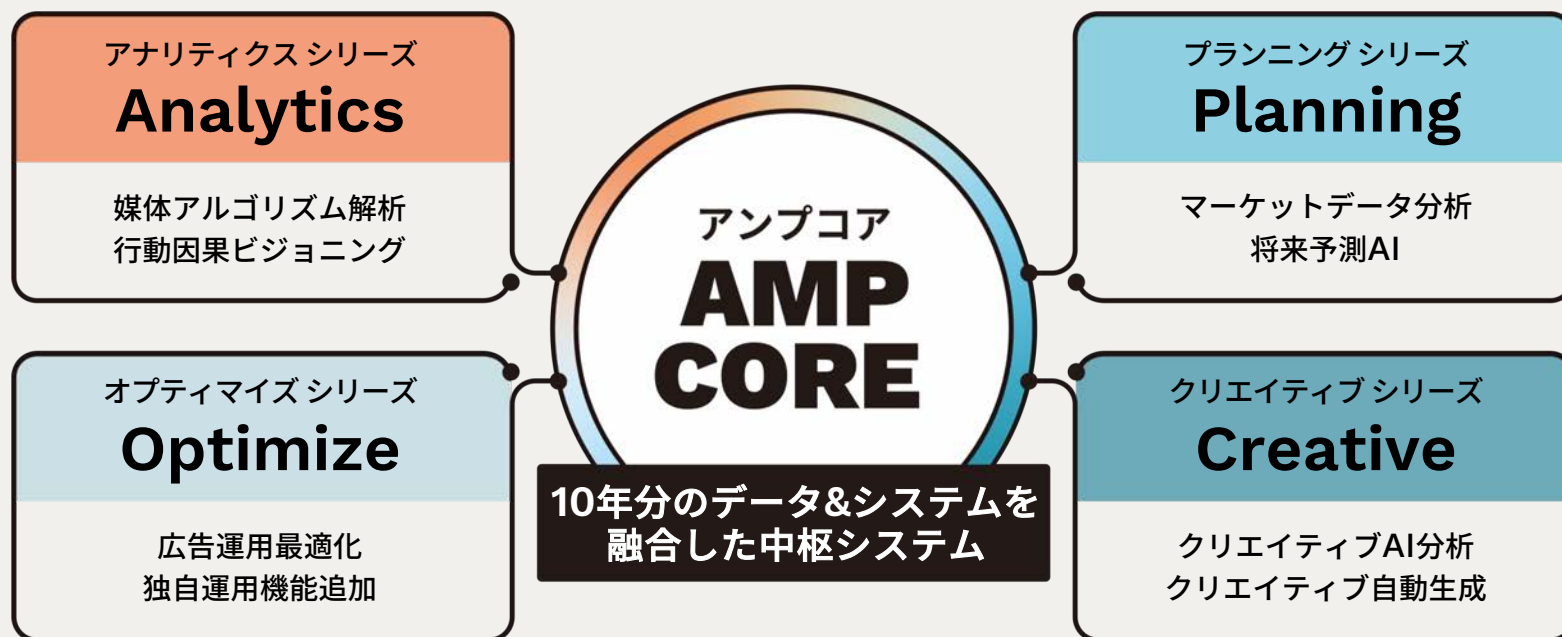


# 次世代のデジタル広告最大化ソリューション



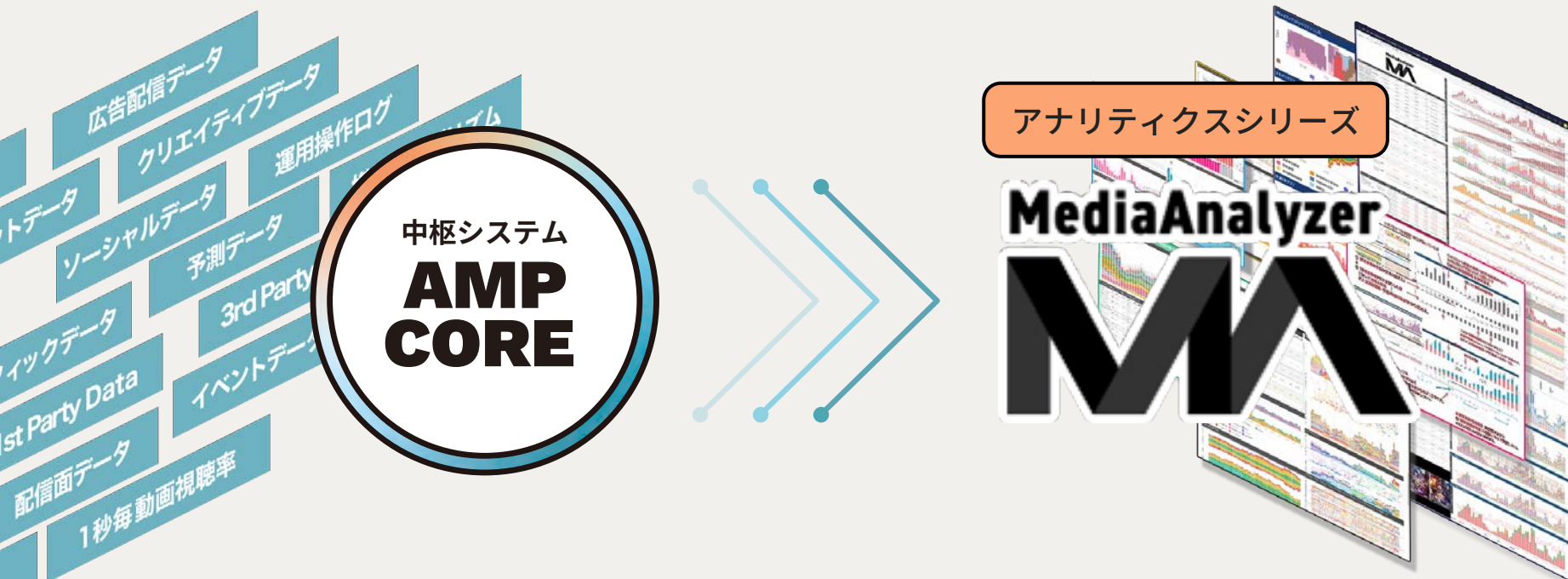
# 10年に及ぶ運用型広告における マーケティングデータの全てを統合

「AMP」は、アドウェイズがこれまでに手掛けた運用型広告支援システム群をすべて統合し、それらに蓄積された10年分のデータを融合させ新開発した中枢システム「AMPコア」を搭載したソリューション群です。



# 全く新しい広告分析システム AMPメディアアナライザー

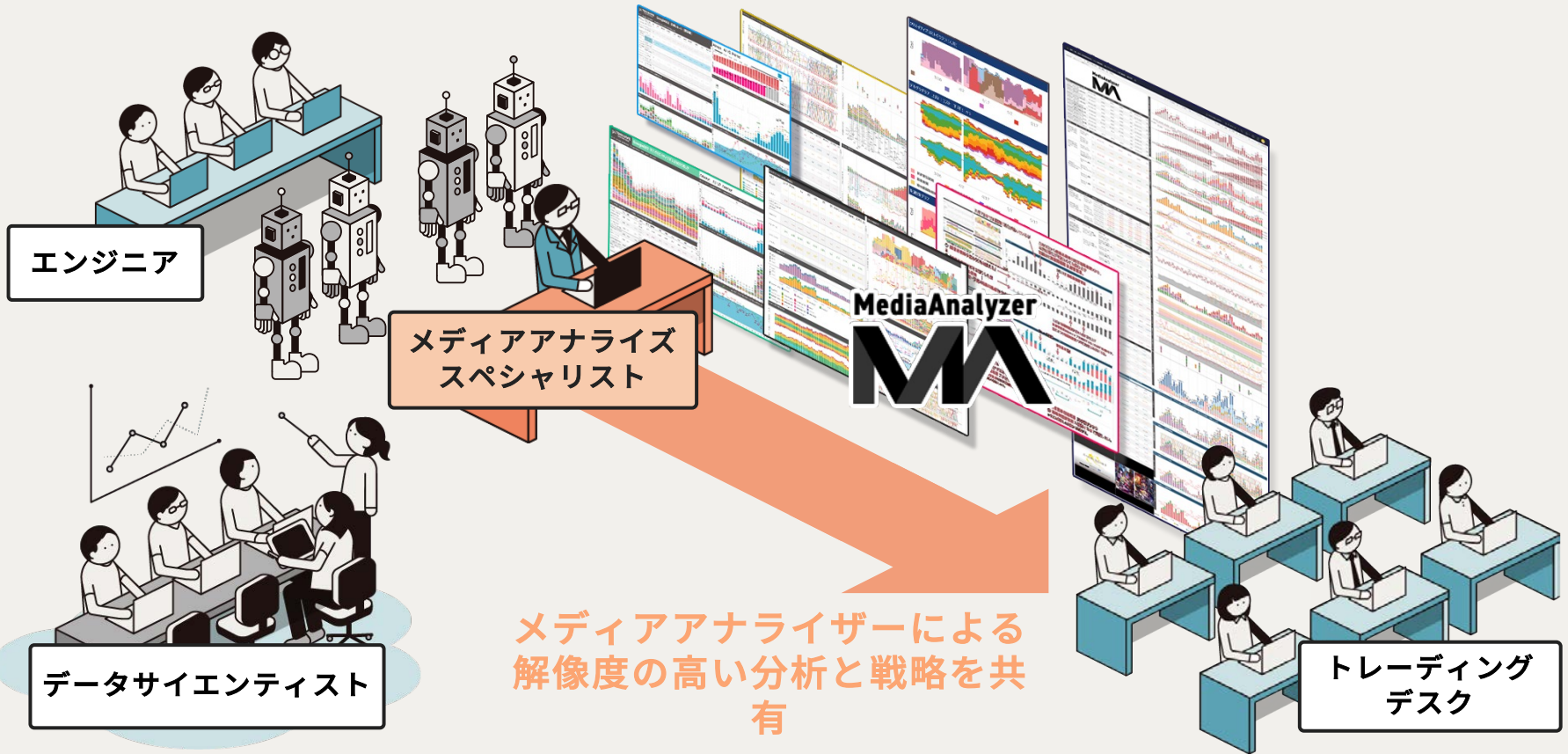
これまで不可能と言われてきたアルゴリズムを解明



広告プラットフォームの挙動予測とともに、予期しないアルゴリズムが発現した際に、運用者が取るべき行動をサポート。



# “高度に機械化された” 新次元の広告運用が可能に



先行テストでは、広告配信量が121%上昇、  
CPAが32%改善する例が生まれています。

# 資本提携契約による 戦略的パートナーシップの強化

当社グループが有する「運用力」「クリエイティブ力」「開発力」等と、  
博報堂DYグループが有するテレビ×デジタルの統合プランニングやマーケティング戦略設計に  
関するノウハウといった両グループの強みを更に掛け合わせ、より強固な協力体制を構築

Hakuhodo DY holdings



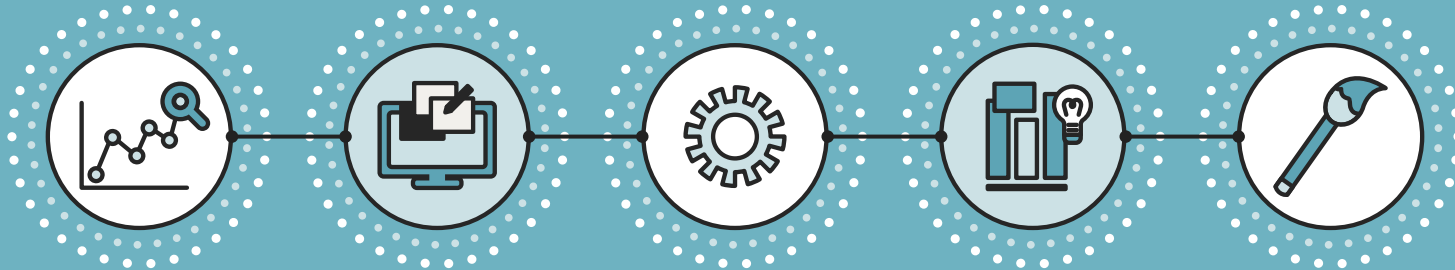
Hakuhodo DY  
media partners

テレビ×デジタルの統合プランニングや  
マーケティング戦略設計に関するノウハウ



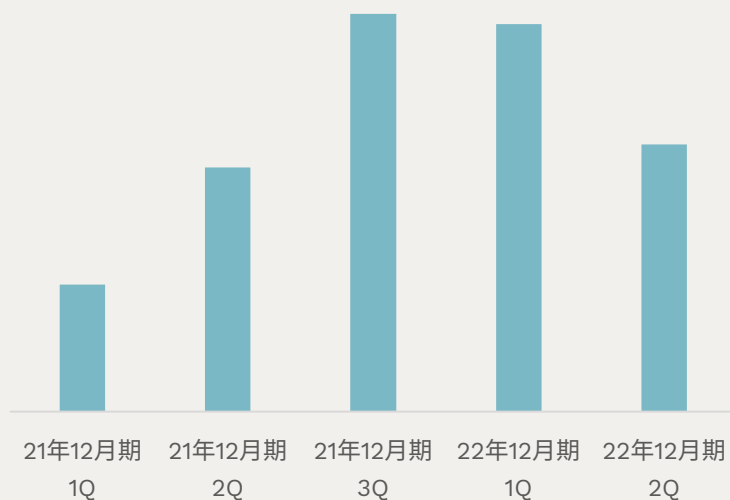
ADWAYS

運用力・クリエイティブ力・開発力

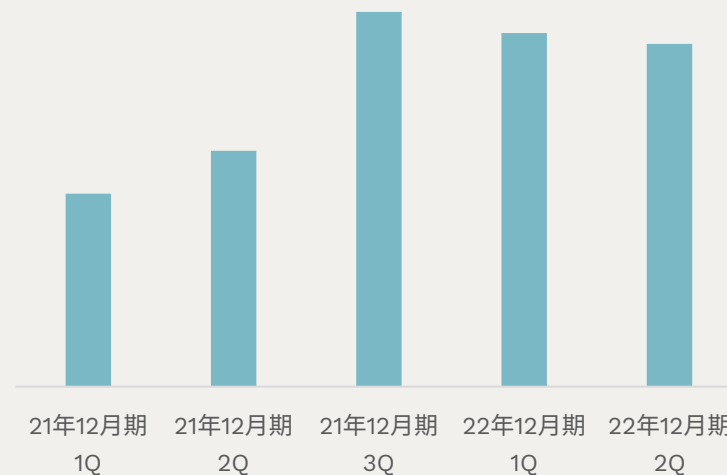


# 博報堂 D Y グループ 資本業務提携 の進捗

博報堂 D Y グループ 協業  
取扱高推移



博報堂 D Y グループ 協業  
アカウント数推移

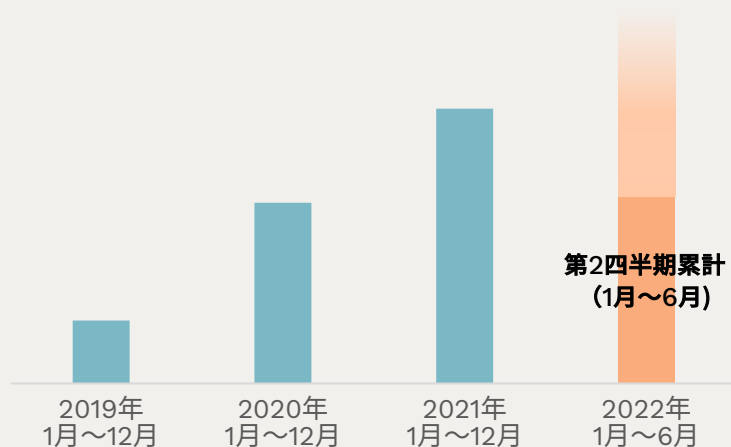


前年同四半期（2021年4月～6月）比で、  
取扱高、アカウント数についても伸長。

# 海外におけるマーケティング支援事業

## 台湾

取扱高推移



「LINE Diamond Sales Partner」  
「LINE Family Club」に認定



ブランド・ECクライアントへのLINE広告やLINE公式アカウントを活用した「IDEA Push」などLINE広告取扱高が好調に推移。  
幅広い取り組みが評価され「LINE Family Club」に、  
ディスプレイソリューションズとアカウントソリューションズの2部門で  
「ダイヤモンドパートナー」に認定。

アドプラットフォーム  
フォーラム事業

(国内・海外)

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業

# アドプラットフォーム事業 事業方針

プロダクトフェーズに合わせた戦略、施策実施



ジャンル拡大、ブランド広告主への取り組み強化



新たな価値創出に向けたプロダクトの再構築



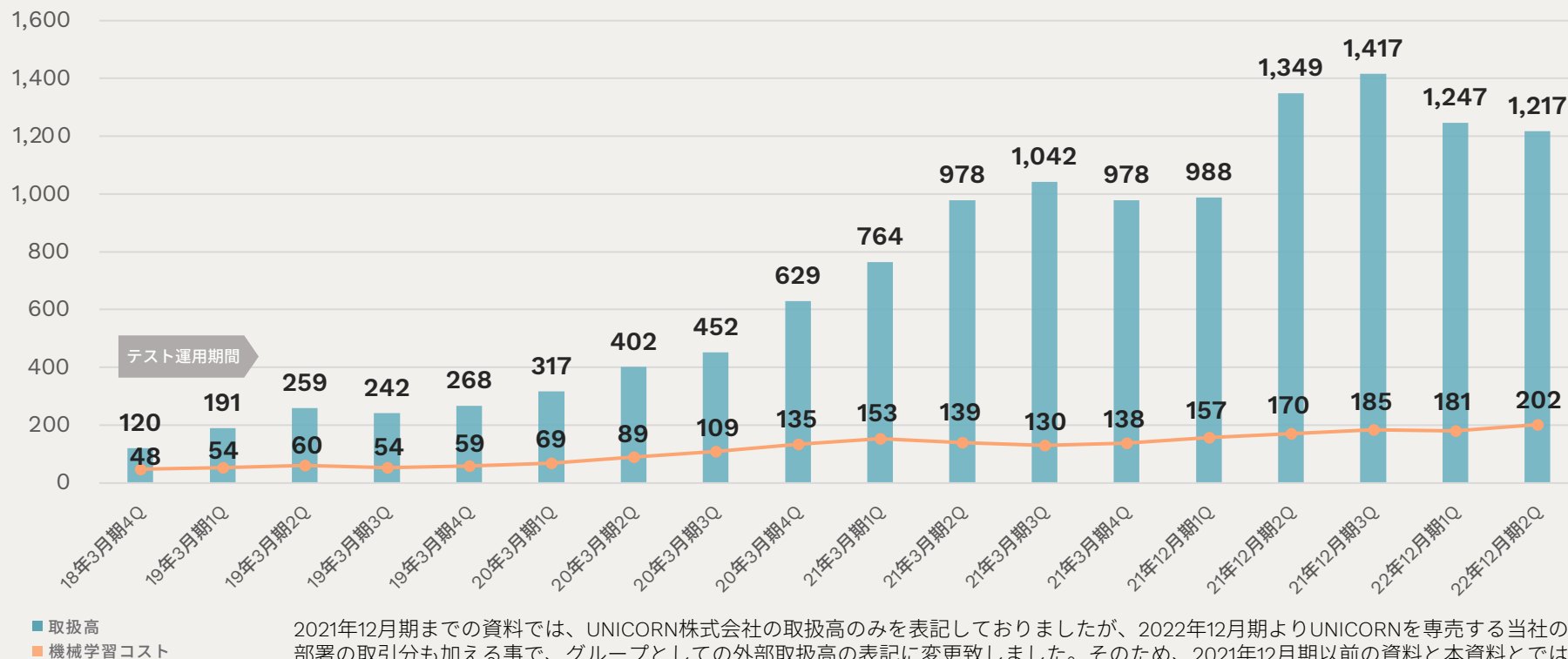
**UNICORN**  
**REDEFINE DIGITAL MARKETING**

# UNICORNの進捗

Second quarter

## UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

取扱高は前年同期比で123%と伸長。

About UNICORN

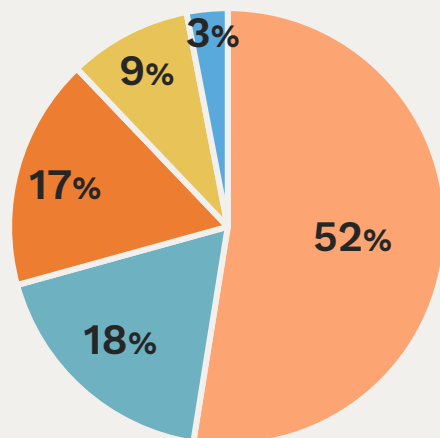


# UNICORNの進捗

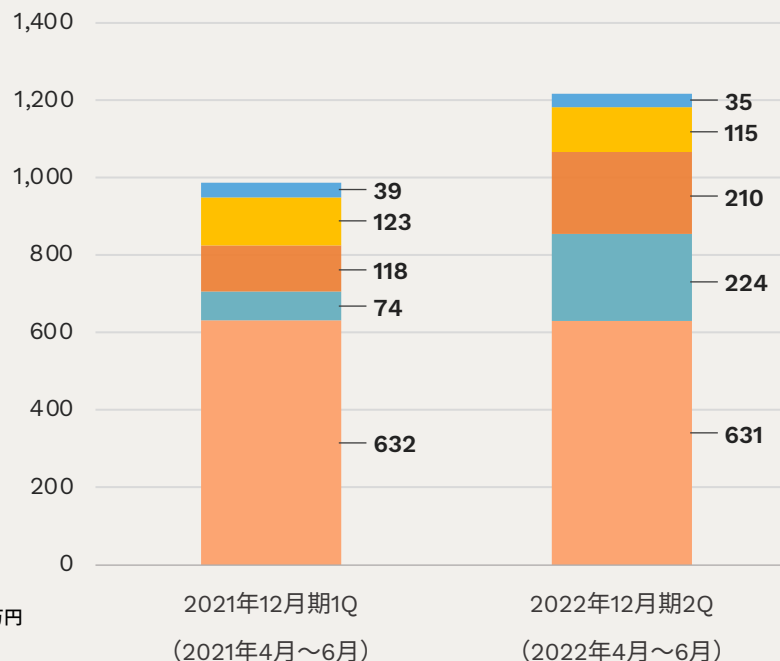
Second quarter

## ジャンル別進捗

2022年12月期2Q実績



■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他



単位：百万円

■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他

2021年12月期まで「その他」に分類していた「ブランド」カテゴリを、2022年12月期より、個別で表示しております。

2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

ブランド・マンガのカテゴリが大幅に伸長。

About UNICORN

# UNICORNの進捗

Second quarter

## UNICORNの業績：前年同四半期比較

[ 単位：百万円 ]

	2022年12月期 第2四半期 (2022年4月～6月)	前年同四半期比 2021年12月期第1四半期 (2021年4月～6月)		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,217	988	+229	+23.2%
売上総利益	446	287	+159	+55.6%
営業利益	101	5	+95	-

2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）営業利益の増減率については1,000%を超えるため表記しておりません。

取扱高、売上総利益、営業利益、それぞれ大幅に伸長。

About UNICORN

# ID5と連携開始

「ID5 ID」を活用したターゲティング配信を可能にし、  
広告効果最大化を支援



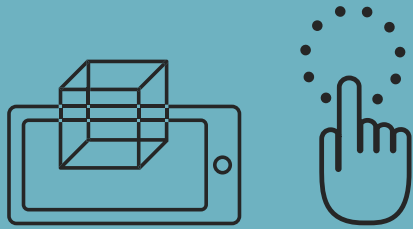
UNICORN



UNICORNとして初となるIDソリューションとの連携  
ID5を活用することでユーザーのプライバシーを尊重しつつ、  
効果的且つ透明性のある広告コミュニケーションを実現。

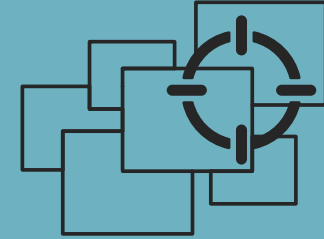
ID5 ID：Webパブリッシャー、広告主、アドテク・プラットフォームが、従来の識別方法（第三者クッキーやMAIDなど）に頼らずに、さまざまな種類のデバイスでユーザーを認識し、キャンペーン目標を達成するために使用できる次世代型ユニバーサル識別情報

# 先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



## 最先端の クリエイティブフォーマット

Banner／Video  
Reward Video  
Native／Interactive



## UNICORNでの 高精度な配信最適化

コンテキスト／ロケーション  
デモグラフィック  
キャリア／承認リスト  
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、  
これまでは出会えなかったユーザーと  
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

# 海外における アドプラットフォーム事業

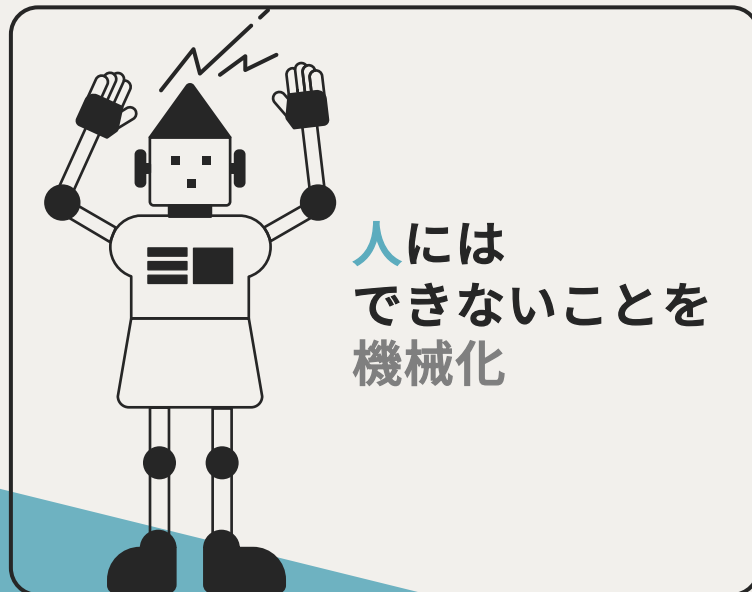
## 台湾

全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」を正式リリース  
ブランド広告領域における取り組みを強化



ユーザーが実際に触れて体験することができ、商品やブランドの魅力をリアルに訴求することが可能な「UNICORN Interactive AD」と、コンテンツの文脈に沿ったキーワードでユーザーターゲティングを行う「コンテキストターゲティング機能」を導入。


# 人と機械の共生



×



## パフォーマンスの最大化



# Beyond Everything Internet

インターネットの全てを越えていく

なにが  
すげー  
みんなのはじめ

# 本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2022年8月3日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。



3

Chapter 3 : Supplementary materials

補 足  
資 料

# 連結取扱高 年間業績推移

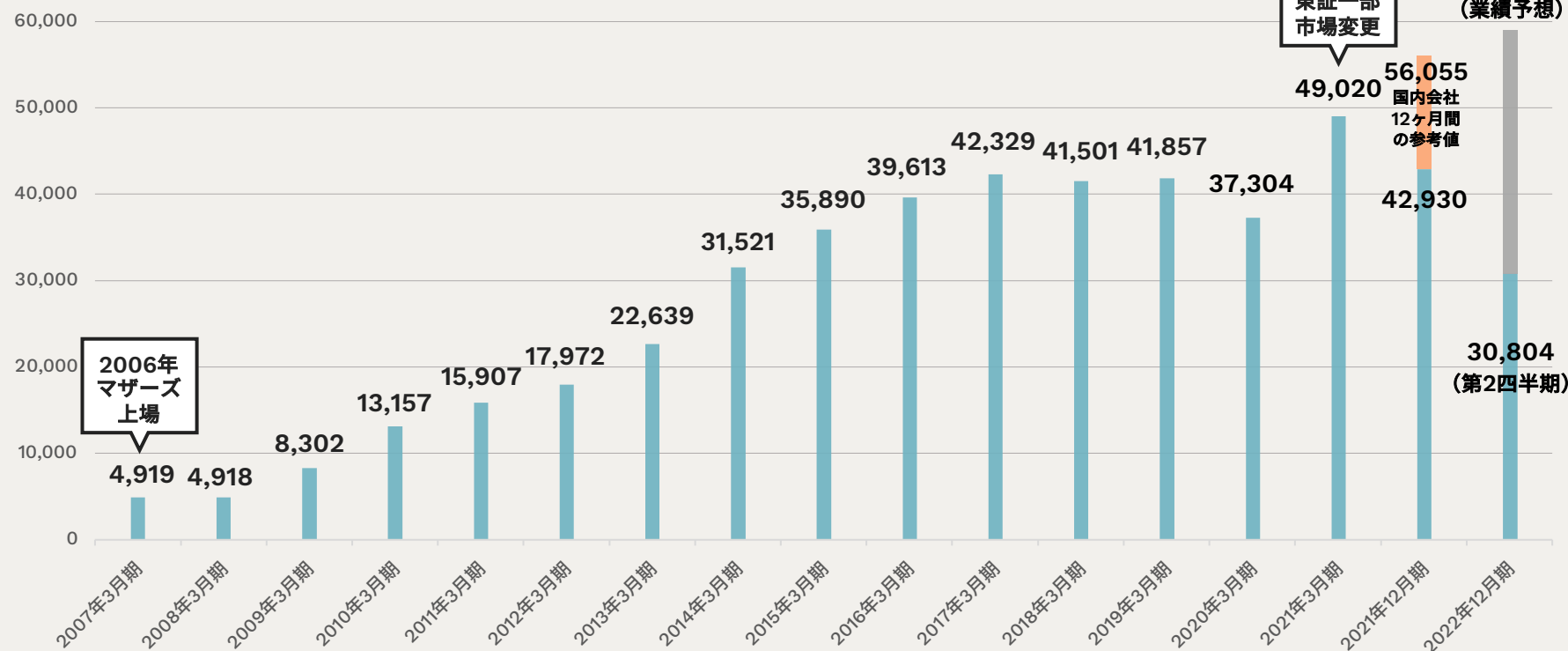
PC/フィーチャーフォン  
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業  
の開始と拡大

海外への注力

新規プロダクト  
への注力

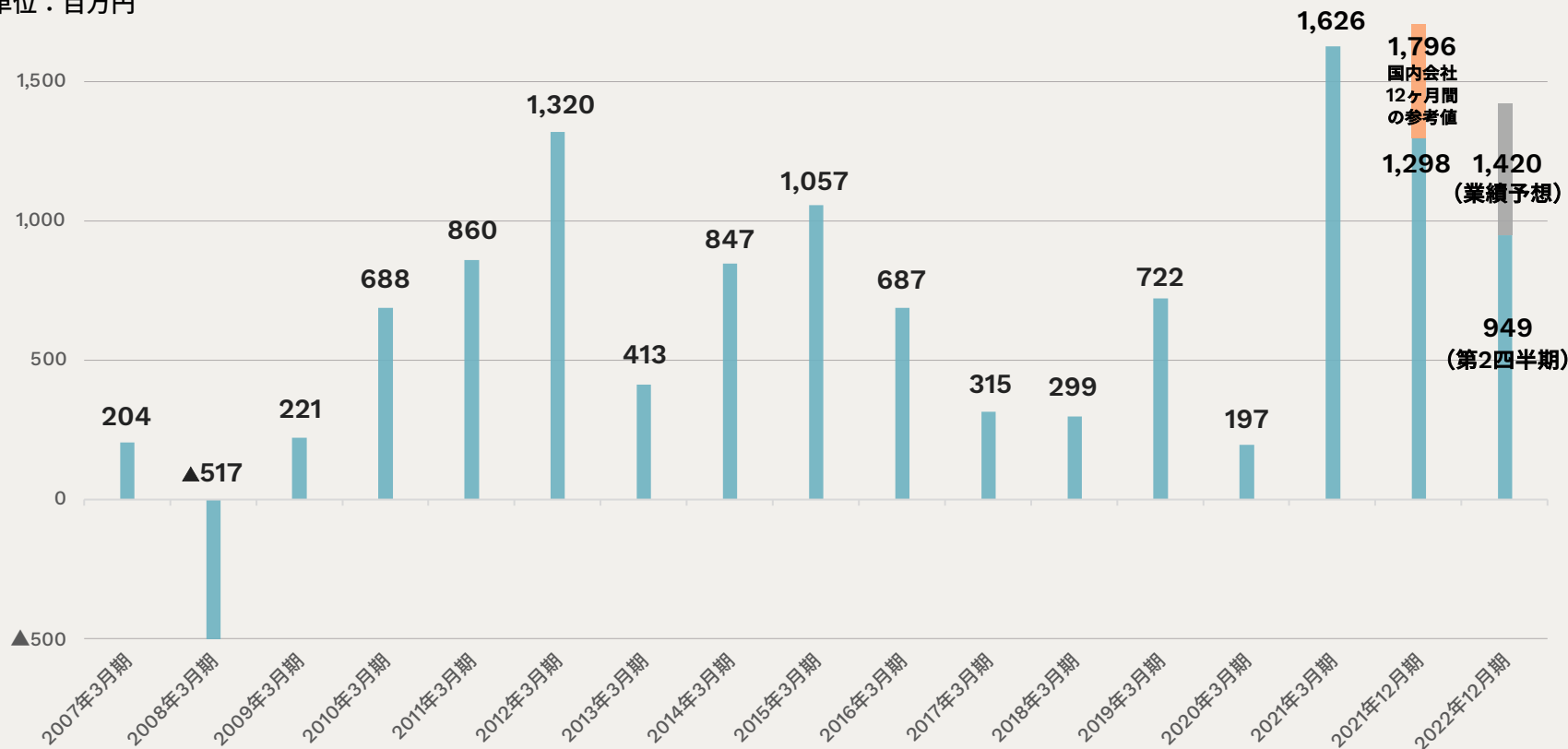
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。  
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

# 連結営業利益 年間業績推移

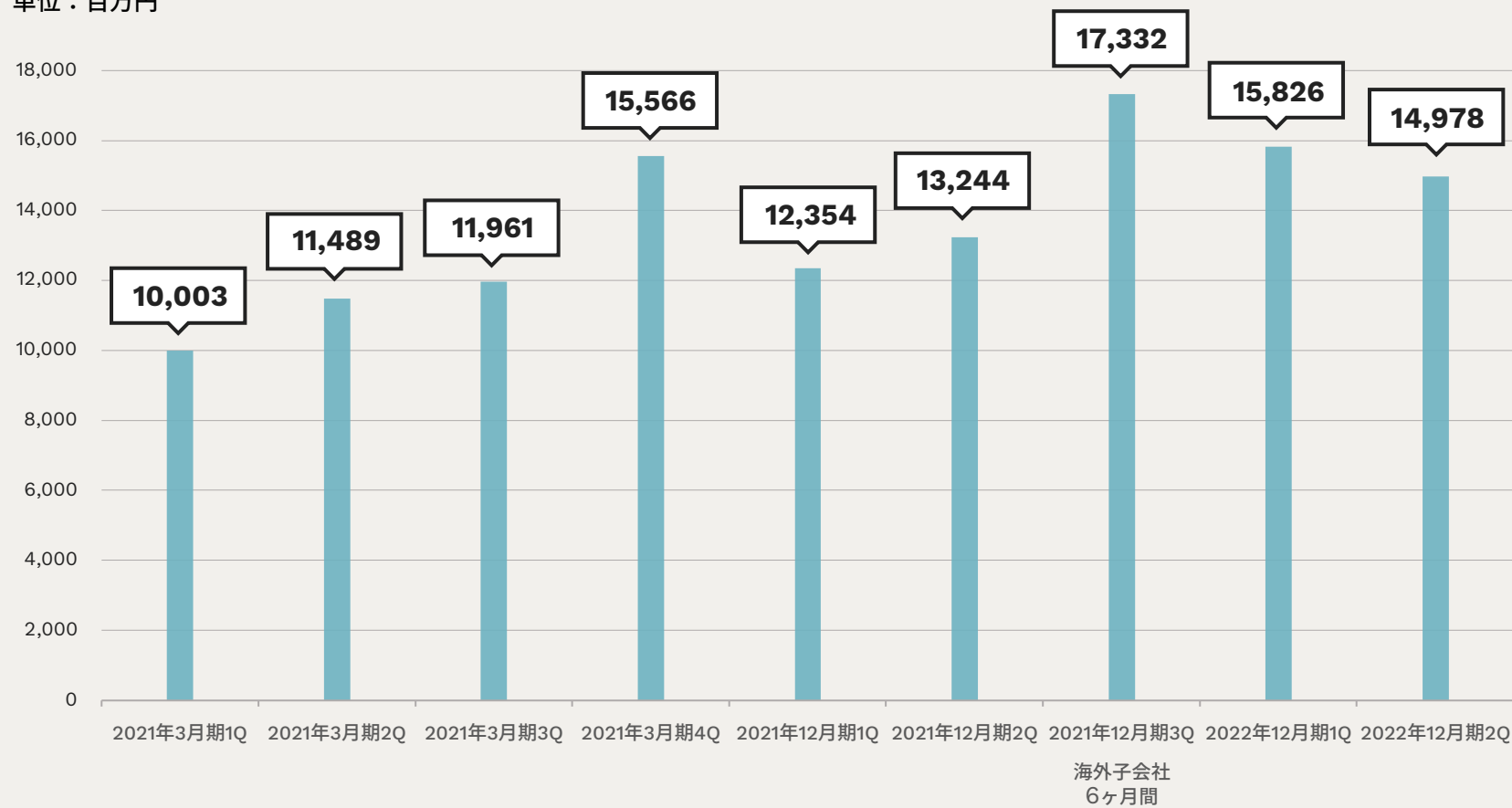
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。  
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

# 連結取扱高 四半期推移

単位：百万円

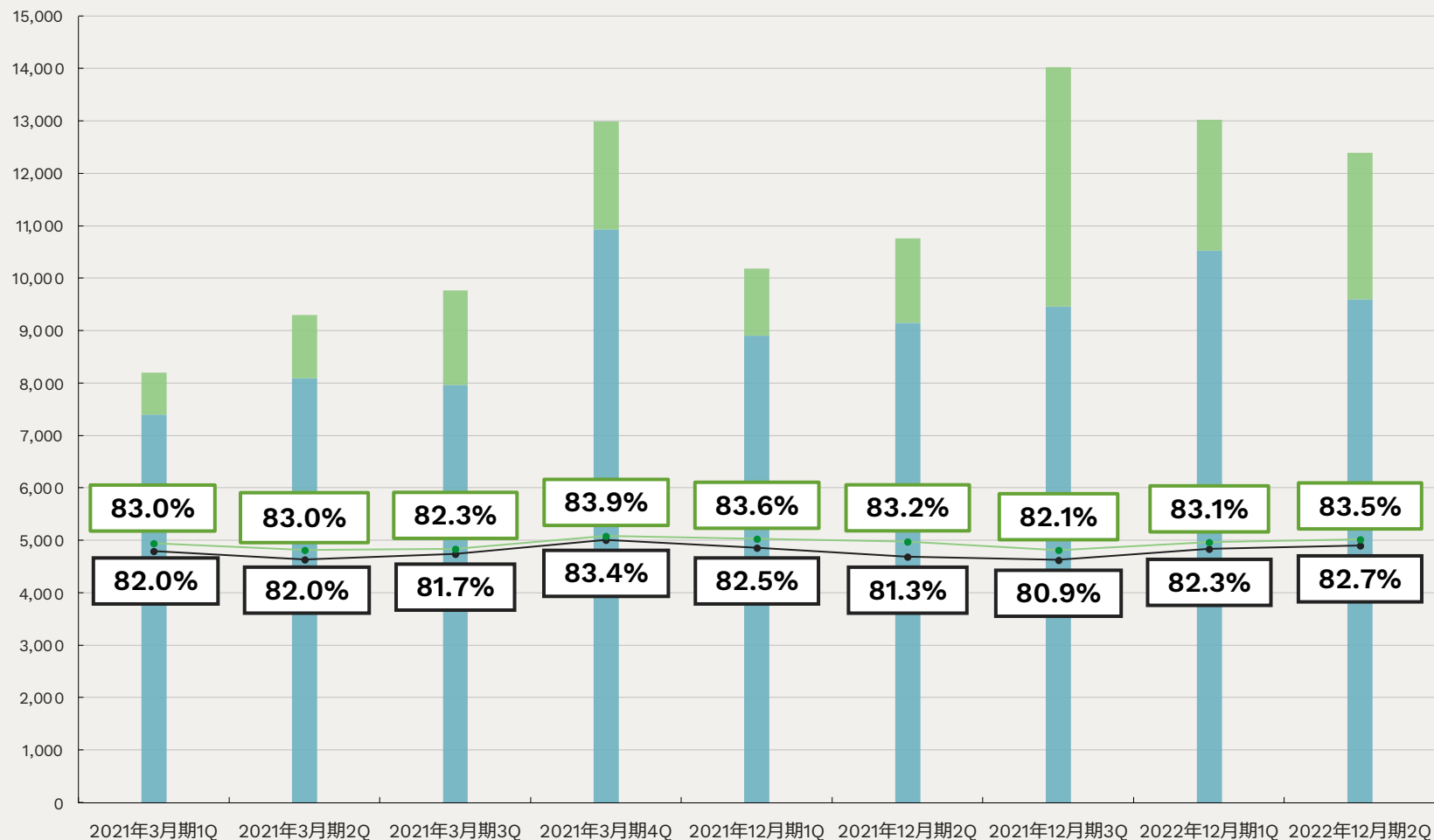


※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結売上原価 四半期推移

単位：百万円

■ 掲載料    ■ その他原価    ● 売上原価率    ● 掲載料率



海外子会社  
6ヶ月間

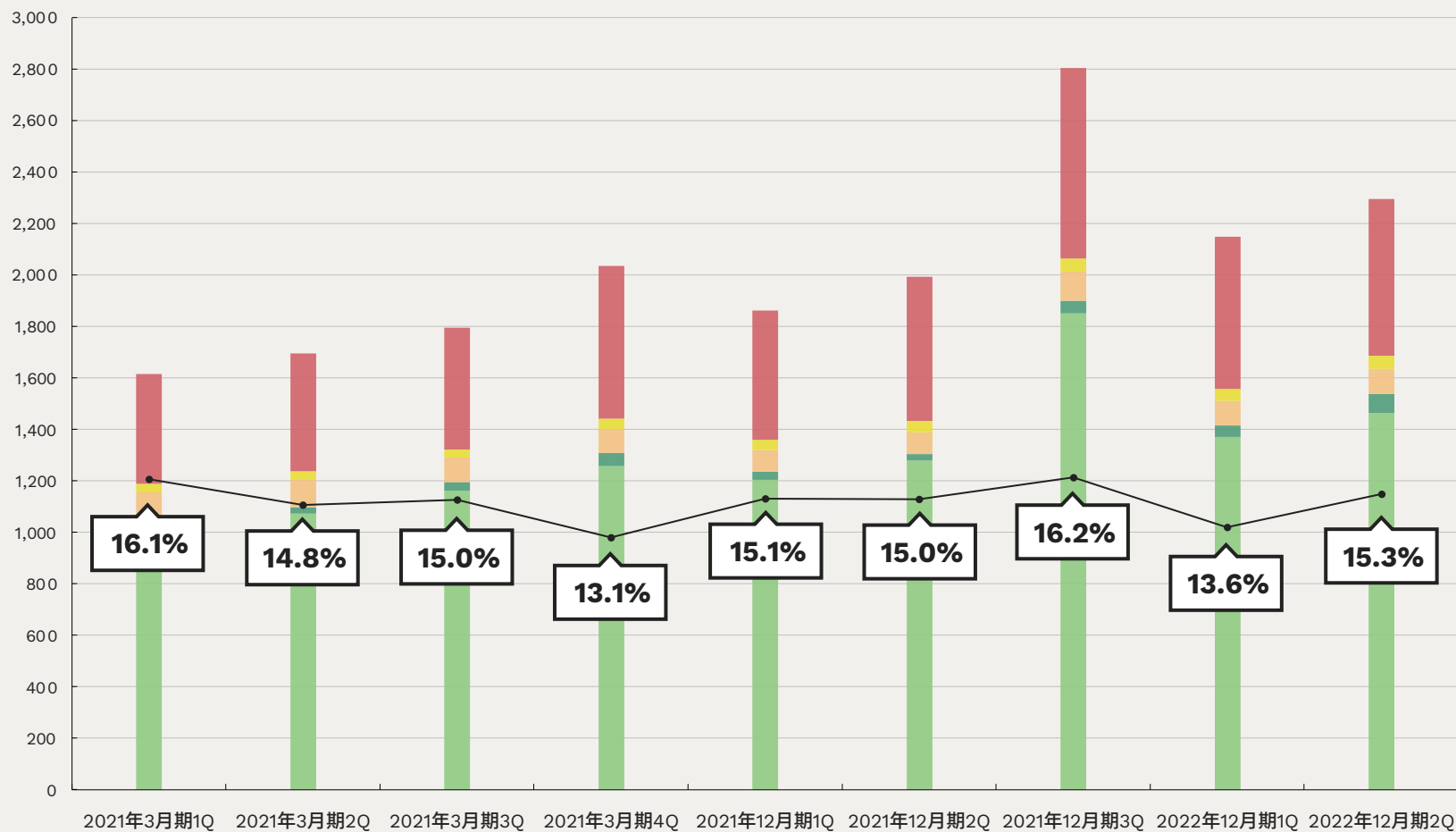
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※掲載料、掲載料率は単体での数値となります。

# 連結販管費 四半期推移

単位：百万円

■ 人件費   
 ■ 採用教育費   
 ■ 地代家賃   
 ■ 減価償却費   
 ■ その他経費   
 ●— 販管費率

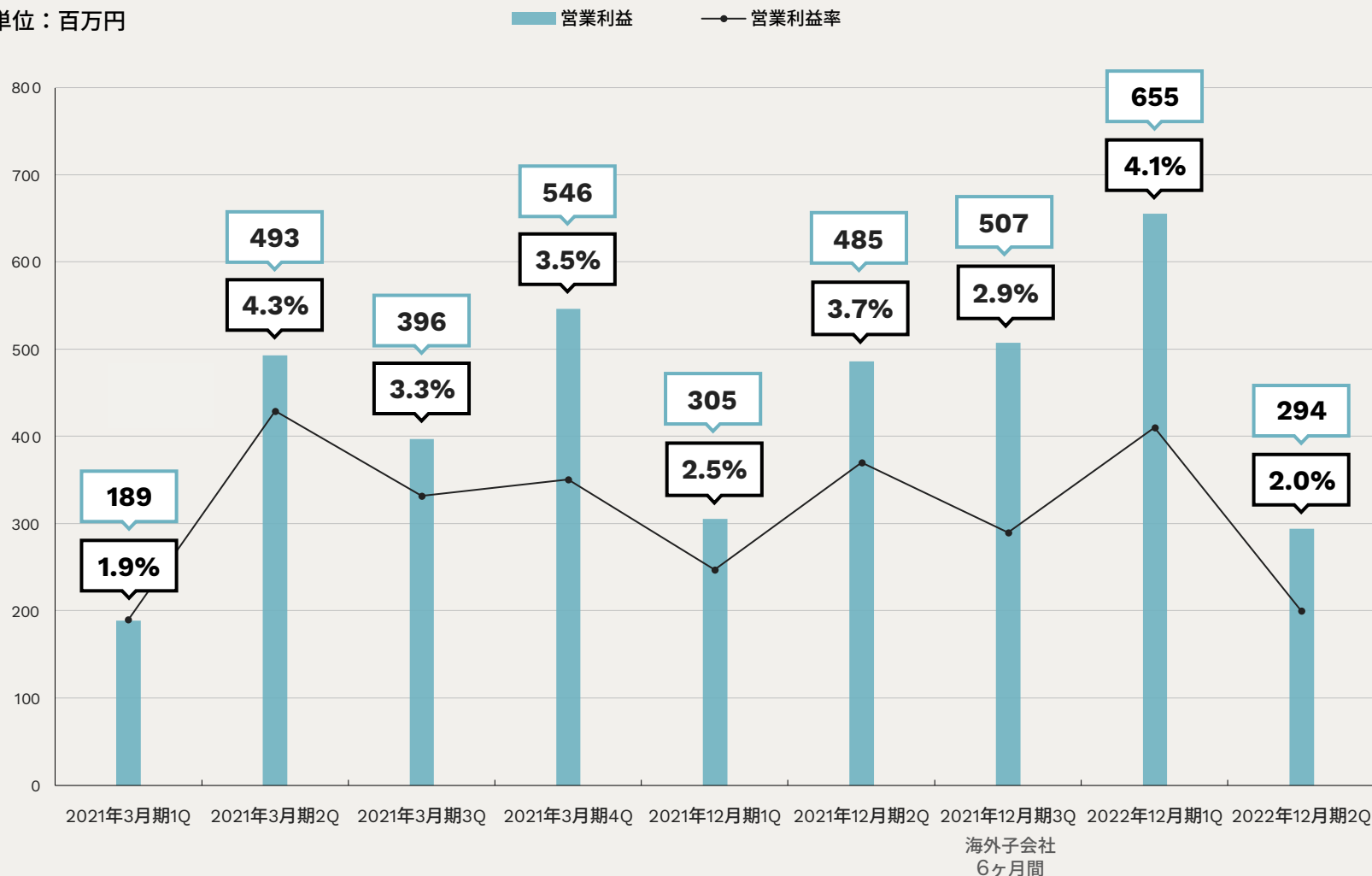


海外子会社  
6ヶ月間

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結営業利益 四半期推移

単位：百万円



※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

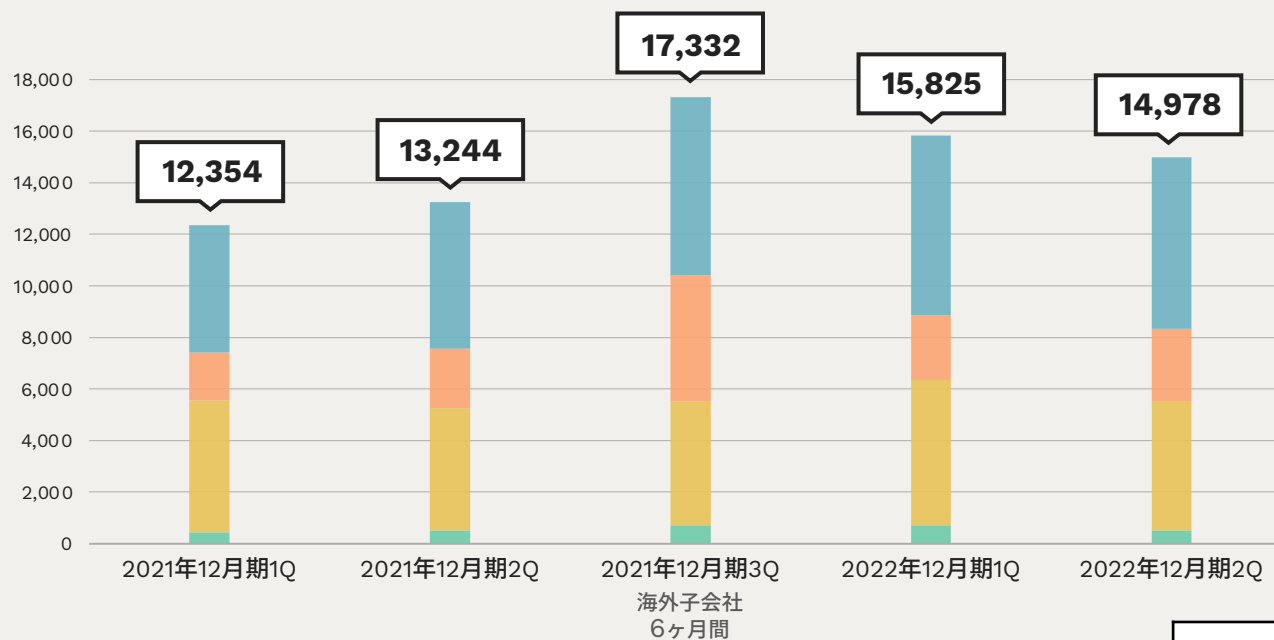
# 連結貸借対照表（前四半期比）

[ 単位：百万円 ]

	2022年12月期2Q	2022年12月期1Q	増減額	増減率
流動資産	21,033	20,793	+240	+1.2%
（現預金）	12,528	9,621	+2,907	+30.2%
固定資産	5,791	3,669	+2,121	+57.8%
総資産合計	26,824	24,462	+2,362	+9.7%
流動負債	10,181	10,112	+68	+0.7%
固定負債	845	222	+623	+280.7%
負債合計	11,027	10,334	+692	+6.7%
純資産合計	15,797	14,128	+1,669	+11.8%



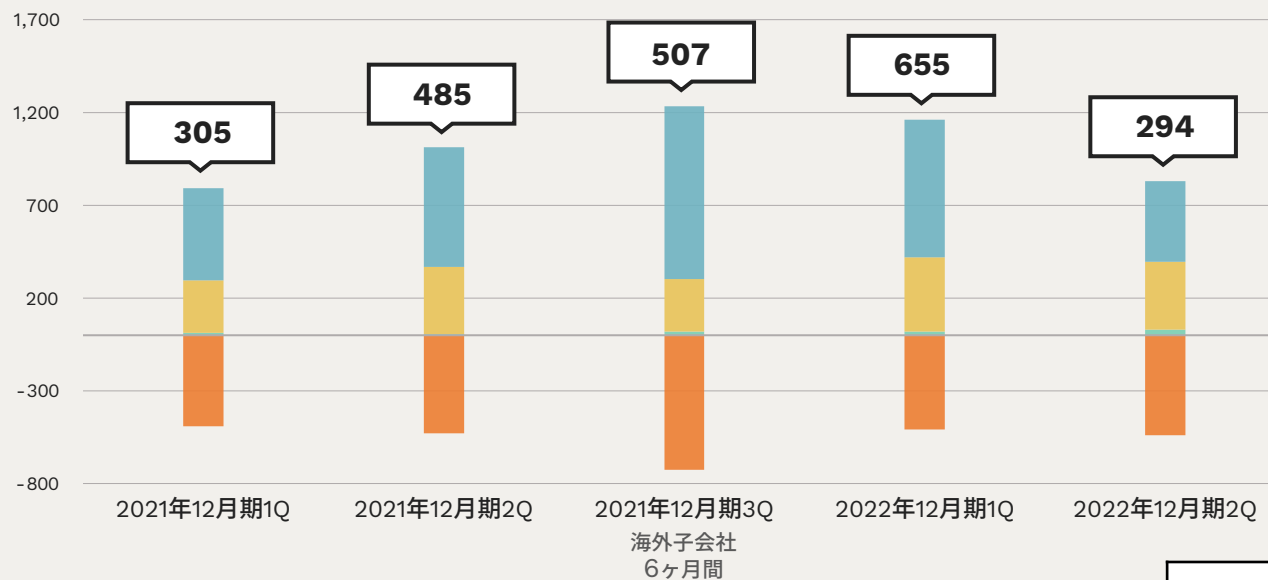
# セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移



	2021年12月期1Q	2021年12月期2Q	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	2022年12月期2Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ エージェンシー(国内)	4,938	5,686	6,913	6,957	6,651	▲306	▲4.4%
■ エージェンシー(海外)	1,848	2,291	4,885	2,526	2,814	+287	+11.4%
■ アドプラットフォーム	5,125	4,746	4,826	5,619	4,990	▲629	▲11.2%
■ その他	442	519	706	722	522	▲199	▲27.6%
合計	12,354	13,244	17,332	15,826	14,978	▲847	▲5.4%

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

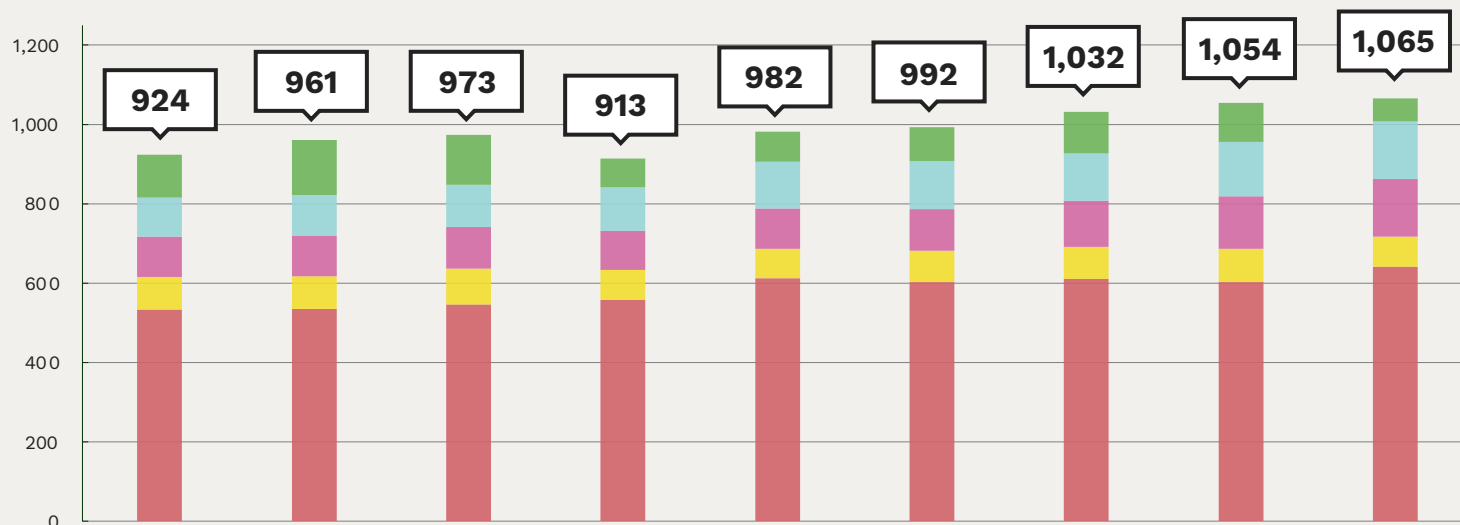
# セグメント内訳別連結営業利益構成比 四半期推移



	2021年12月期1Q	2021年12月期2Q	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	2022年12月期2Q	前四半期比	
						増減額	増減率
エージェンシー	497	646	928	742	432	▲309	▲41.7%
アドプラットフォーム	282	360	283	399	368	▲30	▲7.6%
その他	14	7	21	20	37	+16	+79.2%
消去又は全社	▲489	▲529	▲725	▲507	▲544	▲37	-
合計	305	485	507	655	294	▲361	▲55.2%

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名

	2021年 3月期1Q	2021年 3月期2Q	2021年 3月期3Q	2021年 3月期4Q	2021年 12月期1Q	2021年 12月期2Q	2021年 12月期3Q	2022年 12月期1Q	2022年 12月期2Q
■ 日本アドウェイズ	533	535	546	558	613	602	611	603	641
■ 中国アドウェイズ	82	83	90	75	74	79	80	83	76
■ 国内子会社	102	100	105	99	101	106	117	132	146
■ 海外子会社 (中国以外)	98	104	107	110	117	120	119	138	144
■ 派遣/アルバイト等	109	139	125	71	77	85	105	98	58
合計	924	961	973	913	982	992	1,032	1,054	1,065

# 会社概要

会社名

株式会社アドウェイズ (英名: Adways Inc.)

設立年月日

2001年2月28日

事業概要

インターネット関連事業

代表者氏名

山田 翔

資本金

1,716百万円

[ 2022年6月末日現在 ]

取扱高

42,930百万円 (国内会社9ヶ月間)

[ 2021年12月期連結 ]

従業員数

1,065名 (グループ全体)

[ 2022年6月末日現在 ]

※臨時雇用者含む